

## 【第15回 佐賀県豚熱対策本部会議】 9月6日9:00

農林水産部長／2例目の進捗状況は、今朝8時現在で8,487頭。1時間あたり約30頭のペース。昨日8時と比較すると、843頭の増加。

埋却溝の掘削は、5本目、6本目を調整中としていたが、4本で完了する。フレコンバッグ1,689袋を投入済み。

殺処分の残りは約1,700頭、作業は終盤に差し掛かった。9日をめどに作業を終わらせたい。昨日は気温が上がらず、日中も作業ができた。前倒しできるような現場は尽力している。

防疫作業員は、県と唐津市の混成チームを編成し、4班体制で実施。うち一部は、今後の消毒の準備など、農場内で活動中。

現時点での現地作業員は242名、延べ人数5,568名。他県獣医師5名、延べ100名。

自衛隊は、昨日8時40分に作業完了し、13時15分に撤収が完了。大型の豚を中心に困難な作業に従事していただいた。本当にありがとうございました。

森林組合は、キャリアオペレーターとして途中から従事してもらっている。

事故の報告が1件。県職員の女性が、右足首を骨折。作業後、休憩所に戻る途中、ぬかるんだ道に足を滑らせた。現在、唐津の病院に入院中。

現場は雨で足場が悪い所もあるため、安全面には十分に注意して作業を進めてほしい。

農林水産部副部長／現場では、土砂降りになると作業を中断する。雨の後は、フォークリフトやキャリアでの運搬の作業効率が落ちるため、処理頭数や埋却数が落ちる。

今日は高温が予想されるため、作業員の体調管理に配慮しながら作業を進めたい。

健康福祉部長／1名の負傷者以外は、体調不良を訴える人はいなかった。作業前の説明時に、改めて足元の注意も呼びかけるよう指示した。

県土整備部長／昨日の消毒作業台数は126台。今日は、今朝8時までに45台で、これまで一番多い作業台数。暑さ対策をしながら現場作業に取り組む。

防災監／カメラ越しに見ると、現地対策本部は安定感がある。順調に回っていますか。

農林水産部副部長／現地対策本部スタッフは、4周目の人もいる。気づきや課題を共有し、改善しながらスムーズに運営できている。

防災監／特に現地の皆さん、大変な中ありがとうございます。8時時点での進捗は83%、

残り約 1,700 頭、埋却溝の掘削は完了した。

多くの皆さんにご協力いただき、順調に進んでいる。改めて関係の皆様にご感謝申し上げます。特に建設業協会の皆様には、埋却溝の掘削、フレコンバッグの運搬と埋却、消毒ポイントの運営と、多岐に渡ってご協力いただいている。

J Aの皆様は、殺処分の運搬でフォークリフトの操作に従事していただいている。森林組合や各県の獣医師さんの応援にも、心よりお礼を申し上げます。

1例目の発生から1週間。この間、昼夜を通しフル稼働で作業していただき、感謝申し上げます。

養豚農家の皆さんには、改めて消毒の徹底をお願いします。もし、異常があれば、速やかに県に連絡してほしい。

今日も大変な作業になるが、よろしく願いしたい。